

コスモ石油(株)堺製油所高度化事業に係る
事後調査報告書

平成 21 年 4 月分
コスモ石油株式会社

1. 事業者の氏名及び住所

事業者の名称 : コスモ石油株式会社
 代表者の氏名 : 代表取締役社長 木村 彌一
 主たる事務所の所在地 : 東京都港区芝浦一丁目1番1号

2. 対象事業の名称

コスモ石油株式会社堺製油所高度化事業

3. 対象事業の実施状況

3-1. 調査実施日

平成21年4月1日～平成21年4月30日

3-2. 調査時の工事の状況

平成21年4月は、土木工事及び本体工事を継続実施した。

工事内容	平成21年4月		
	上旬	中旬	下旬
土木工事			
測量、杭打設			
掘削			
基礎工			
本体工事			
機器の搬入・据付			
架構及び配管敷設			

4. 事後調査の方法

4-1. 調査内容

事後調査の調査項目、調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は、表-1に示すとおりである。

表-1 工事中における事後調査内容

調査項目		調査地点	調査期間及び頻度	調査方法
水質	浮遊物質	各仮設凝集沈殿処理設備、各仮設沈殿槽、No.1排水口及びNo.2排水口	【期間】 土木工事期間中 【頻度】 工事中適宜	事前に濁度と浮遊物質量の相関関係を確認し、濁度計にて測定
廃棄物	発生量 有効利用量 最終処分量 有効利用方法	-	【期間】 工事期間中 【頻度】 工事中適宜	工事関係者が記入した調査票等から、産業廃棄物の種類毎の発生量、有効利用量、最終処分量、有効利用方法を集計する方法
発生土	発生土量 利用土量 所外搬出量	-	【期間】 工事期間中 【頻度】 工事中適宜	工事関係者の日報等により、残土輸送車の台数から搬出量を集計する方法
陸域生態系	シオクグ生育状況	移植地	【期間】 工事開始～3年間 【頻度】 年3回(5,6,8月)	葉の量・色つや・枯れの有無・開花・結実の状況を目視(写真)で確認

5．事後調査の結果及び検証

5-1．水質・・・浮遊物質量

4月の工事排水中の浮遊物質量を調査した。仮設凝集沈殿処理設備等の設置場所は図-1に示すとおりである。

調査結果は、別紙1に示すとおりである。浮遊物質量の測定値は、計画値を満足するものであった。

5-2．廃棄物・発生土・・・発生量等

年報（平成21年6月予定）にて報告する。

5-3．陸域生態系・・・シオクグ生育状況

4月度は調査なし。次回は平成21年5月度に調査予定。

以上

仮設凝集沈殿処理設備等
 10/18 排水終了
 2/3～ 仮設沈殿槽にて
 処理中
 9/9～ 稼働中
 1/27～ 仮設沈殿槽にて
 処理中
 1/26～ 仮設沈殿槽にて
 処理中
 2/6 排水終了
 4/10に仮設凝集沈殿処理
 設備から仮設沈殿槽へ
 変更。
 4/14 排水終了
 4/18に仮設凝集沈殿処理
 設備から仮設沈殿槽へ
 変更。
 3/7 排水終了
 4/23 排水終了



図-1. 仮設凝集沈殿処理設備等の設置場所（工事中）

凡 例

- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| 対象事業計画地 | 新設装置設置エリア | |
| 重質油分解装置群エリア | 緑地（既設） | 緑地（新設） |
| 石油化学用原料製造装置群エリア | 樹林地 | 樹林地 |
| 発電設備エリア | 低木及び地被植物 | 低木及び地被植物 |
| 付帯設備エリア | | |



